

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店『新編 言語文化 改訂版』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。	文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。	身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 宇治拾遺物語「児のそら寝」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の意味は文脈の中で形成されることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	8
	B 単元 徒然草 「公世の二位のせうとに」 「神無月のころ」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の意味は文脈の中で形成されることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	7
	定期考査					○	○	○	1
	C 単元 枕草子「にくきもの」 【知識及び技能】 ・言語文化の理解に必要な語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容、構成、展開を叙述をもとにとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	8
	D 単元 伊勢物語「芥川」 【知識及び技能】 ・言語文化の理解に必要な語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容、構成、展開を叙述をもとにとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	14

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組 C 組

教科担当者：

使用教科書：（改訂版 歴史総合 近代から現代へ 山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】近現代の世界と日本の歴史に関して基礎的内容を理解するとともに、諸資料から情報を適切に調べる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的事象の意義を、多面的・多角的に考察する力や、それらを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象を踏まえて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
B単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 18世紀までのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀までのアジアの経済と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの国々を結んでいたアジア域内貿易のあり方について追究する。	・指導事項 第1部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界	【知識・技能】 18世紀までのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀までのアジアの経済と社会を理解しているか。 【思考・判断・表現】 アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し、表現し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの国々を結んでいたアジア域内貿易のあり方について追究し得たか。	○	○	○	6
B単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響に着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア諸国と欧米諸国との関係の変容について追究する。	・指導事項 第1部 近代化と私たち 第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ 世界の成立	【知識・技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解しているか。 【思考・判断・表現】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響に着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア諸国と欧米諸国との関係の変容について追究し得たか。	○	○	○	8
1 定期考査			○	○		1
B単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 立憲体制と国民国家の形成について追究する。	・指導事項 第1部 近代化と私たち 第3章 明治維新と日本の立憲体制	【知識・技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解しているか。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 立憲体制と国民国家の形成について追究し得たか。	○	○	○	6
B単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響に着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響について追究する。	・指導事項 第1部 近代化と私たち 第4章 帝国主義の展開とアジア	【知識・技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解しているか。 【思考・判断・表現】 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響に着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響について追究し得たか。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>C単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦時の国際情勢と第一次世界大戦後の国際協調体制や大衆社会の形成を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 第一次世界大戦の性格と惨禍や国際協調体制の特徴、大衆社会などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦が及ぼした影響や大衆社会の特徴について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>第5章 第一次世界大戦と大衆社会</p>	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦時の国際情勢と第一次世界大戦後の国際協調体制や大衆社会を理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の性格と惨禍や国際協調体制の特徴、大衆社会などを多面的・多角的に考察し、表現し得たか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦が及ぼした影響や大衆社会の特徴について追究し得たか。</p>	○	○	○	9
	<p>C単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」</p> <p>【知識及び技能】 国際協調体制の動揺の背景と第二次世界大戦の展開について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 国際秩序や政治体制の変化に着目して第二次世界大戦の推移を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際協調体制の動揺の背景と第二次世界大戦の経過や惨禍について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>第6章 経済危機と第二次世界大戦</p>	<p>【知識・技能】 国際協調体制の動揺の背景と第二次世界大戦の展開について理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際秩序や政治体制の変化に着目して第二次世界大戦の推移を多面的・多角的に考察し、表現し得たか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際協調体制の動揺の背景と第二次世界大戦の経過や惨禍について追究し得たか。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>C単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」</p> <p>【知識及び技能】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響を多角的・多面的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>第7章 戦後の国際秩序と日本の改革</p>	<p>【知識・技能】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響を多角的・多面的に考察し得たか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について追究し得たか。</p>	○	○	○	9
	<p>D単元「グローバル化と私たち」</p> <p>【知識及び技能】 脱植民地化と冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦が世界に及ぼした影響について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>第Ⅲ部 グローバル化と私たち</p> <p>第8章 冷戦と世界経済</p>	<p>【知識・技能】 脱植民地化と冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現し得たか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦が世界に及ぼした影響について追究し得たか。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>D単元「グローバル化と私たち」</p> <p>【知識及び技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展を基に、市場経済の変容と課題を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>第Ⅲ部 グローバル化と私たち</p> <p>第9章 グローバル化する世界</p> <p>第10章 現代の課題</p>	<p>【知識・技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展を基に、市場経済の変容と課題を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現し得たか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを追究し得たか。</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 社会総合

教科：公民 科目：社会総合 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとなる概念や理論及び、倫理、政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに新聞記事から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、新聞記事をもとに活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 社会総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、新聞記事から、必要な情報を適切かつ効果的に調べられる技能を身に付けさせる。	現実世界の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、新聞記事をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。また、構想したことを発表する力を養う。	より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「新聞記事に慣れ親しむ」 【知識及び技能】 比較的的文章量が短い新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解する。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付ける。	・指導事項 「文章量が短い新聞記事から要旨をつかみ、自分の考えをもつ」 ・教材 新聞記事、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 文章量が短い新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解することができたか。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付けることができる。	○	○	○	8
	授業内テスト			○	○	○	1
	A 単元「新聞記事に慣れ親しむ」 【知識及び技能】 比較的的文章量が短い新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解する。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付ける。	・指導事項 「文章量が短い新聞記事から要旨をつかみ、自分の考えをもつ」 ・教材 新聞記事、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 文章量が短い新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解することができたか。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付けることができる。	○	○	○	17
授業内テスト			○	○	○	1	
2 学 期	B 「新聞記事の論点を理解する」 【知識及び技能】 文章量が中程度の新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解する。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付ける。	・指導事項 「文章量が中程度の長さの新聞記事から要旨をつかみ、自分の考えをもつ」 ・教材 新聞記事、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 文章量が中程度の新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解することができたか。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付けることができる。	○	○	○	17
	授業内テスト			○	○	○	1
	B 「新聞記事の論点を理解する」 【知識及び技能】 文章量が中程度の新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解する。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付ける。	・指導事項 「文章量が中程度の長さの新聞記事から要旨をつかみ、自分の考えをもつ」 ・教材 新聞記事、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 文章量が中程度の新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解することができたか。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付けることができる。	○	○	○	14
授業内テスト			○	○	○	1	

3 学 期	<p>C 「新聞記事に対して持論を論理的に説明する」</p> <p>【知識及び技能】 文章量が多い新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解する。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付ける。</p>	<p>・指導事項 「文章量が多い新聞記事から要旨をつかみ、自分の考えをもつ」</p> <p>・教材 新聞記事、一人1台端末、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 文章量が多い新聞記事を読み、分からない語句を調べ、適切にまとめ理解することができたか。また、新聞記事の要旨を理解し関連する事項について正しい情報を取捨選択する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 新聞記事について考察のポイントを理解し、自分の考えを適切にまとめ、他者との話し合いを通して自分の考えを深化させることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事を最後まで読み、自分の考えをもちつつ、他者の考えを受容する態度を身に付けることができる。</p>	○	○	○	17
	授業内テスト			○	○	○	1
							78

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I（普通科）

教科： 数学 科目： 数学 I（普通科） 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組

教科担当者：

使用教科書：（新 高校の数学 I（数研出版））

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I（普通科） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 学			配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 第2節 1次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	1. 1次方程式	【知識・技能】 ○方程式における解の意味を理解し、1次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○日常の問題を解決するのに、1次方程式を活用することができる。	○	○		1
		2. 不等式	【知識・技能】 ○不等号の意味を理解している。 ○不等式が値の範囲を表すことを理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。 ○不等式の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ○数量の大小関係を式で表現することができる。 ○不等式の性質を、数直線上の点と対応させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○不等式の性質について、等式の性質と比較して、考察しようとする。	○	○	○	2
		3. 不等式の解	【知識・技能】 ○不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ○連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○不等式の性質を基に、1次不等式を解く方法を考察することができる。 ○日常の問題を解決するのに、1次不等式を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。	○	○	○	3
		定期考査			○	○	○
	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ 2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	1. 関数	【知識・技能】 ○関数について理解している。 ○関数の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2つの数量の関係を関数の式で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○日常の事象の中に関数を見つけようとする。	○	○	○	1

	2. 1次関数のグラフ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○座標について理解している。 ○対応表を利用して、2次関数のグラフをかくことができる。 ○傾きと切片に着目して、2次関数のグラフをかくことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関数を表、式、グラフによって考察することができる。 ○$y=ax+b$のグラフを$y=ax$のグラフをy軸方向に平行移動したものとみて考察することができる。 	○	○		1
	3. 2次関数のグラフ(1)	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放物線の形や軸、頂点について理解している。 ○$y=ax^2$のグラフをかくことができる。 ○$y=ax^2+q$のグラフをかくことができる。 ○$y=a(x-p)^2$のグラフをかくことができる。 ○$y=a(x-p)^2+q$のグラフをかくことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○$y=a(x-p)^2+q$のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放物線のもつ性質に興味・関心をもち、自ら調べようとする。 	○	○	○	3
	4. 2次関数のグラフ(2)	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ax^2+bx+cを$a(x-p)^2+q$の形に変形できる。 ○平方完成を利用して$y=ax^2+bx+c$のグラフをかくことができる。 	○			3
第2節 2次関数の値の変化 2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。次に、2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	1. 2次関数の最大値、最小値	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 ○平方完成を利用して、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ○2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 ○日常における最大・最小の問題の解決に、2次関数を活用することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2次関数の最大・最小の問題を、図をかいて視覚的に考察しようとする。 	○	○	○	4
	2. グラフと2次方程式	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ○解の公式を利用して2次方程式を解くことができる。 ○2次関数のグラフとx軸の共有点のx座標を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、2次方程式と関連させて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。 	○	○	○	4
	3. グラフと2次不等式	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。 ○式を解きやすい形に変形してから2次不等式を解くことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2次不等式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2次不等式を解くときに、図を積極的に活用しようとする。 	○	○	○	3
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第3章 図形と計量 第1節 三角比 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。 また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	1. 直角三角形	【知識・技能】 ○直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる。 ○三角定規の形の三角形について、辺の比を知っている。	○			2
		2. 三角比	【知識・技能】 ○三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。 ○直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 ○三角比の表を利用して、三角比の値や角を調べることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを、三角形の相似から考察することができる。	○	○		4
		3. 三角比の利用	【知識・技能】 ○三角比を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ○三角比を利用して、直角三角形の角のおよその大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○測量の問題に三角比を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○直接測ることのできない距離を求めることに興味をもつ。	○	○	○	4
		4. 三角比の相互関係	【知識・技能】 ○ $\sin A = \cos(90^\circ - A)$ などの公式を利用することができる。 ○三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○ $\sin^2 A + \cos^2 A = 1$ を三平方の定理としてとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角比の相互関係を調べようとする。	○	○	○	4
		5. 鈍角の三角比	【知識・技能】 ○鈍角の三角比の値を求めることができる。 ○ $\sin \theta = \sin(180^\circ - \theta)$ などの公式を利用することができる。 ○鈍角の場合についても、三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○拡張された三角比を、座標平面に図示して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○鋭角の場合と異なり、鈍角の三角比が座標を利用して定義される理由に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	第2節 三角形への応用 図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	1. 正弦定理	【知識・技能】 ○正弦定理における $A=B=C$ の形の式を適切に処理することができる。 ○正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の頂点から対辺に下ろした垂線の長さを、三角比を用いて表現し、正弦定理を導くことができる。 ○測量の問題に正弦定理を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	○	○	○	5
		2. 余弦定理	【知識・技能】 ○余弦定理を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の各辺を1辺とする正方形の面積を、三角比を用いて表現し、余弦定理を導くことができる。 ○測量の問題に余弦定理を活用することができる。 ○空間図形から適当な三角形を取り出して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	○	○	○	5
		3. 三角形の面積	【知識・技能】 ○2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角比と三角形の面積の関係に関心をもち、公式を導こうとする。	○		○	3
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	第4章 集合と命題 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	1. 集合	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集合を、要素を書き並べて表すことができる。 ○共通部分、和集合、空集合について理解している。 ○2つの集合の包含関係を判定することができる。 ○全体集合、補集合について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集合に関する記号を、適切に用いることができる。 ○ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。 	○	○	○	2
		2. 命題と集合	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○命題の意味を理解している。 ○集合の包含関係や反例を調べるなどして、命題の真偽を判定することができる。 ○否定の意味及び否定を表す記号を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 ○命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。 	○	○	○	2
		3. 必要条件と十分条件	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○十分条件、必要条件及び必要十分条件の意味を理解している。 ○逆、対偶の意味を理解し、命題の逆、対偶を作ることができる。 ○真である命題の逆は、真であるとは限らないことを理解している。 ○対偶の真偽はもとの命題の真偽と一致することを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対偶の利用や背理法の利用を適切に判断して、命題を証明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直接証明法では難しい命題も、対偶や背理法を利用すれば証明できることに興味をもち、証明法を習得しようとする。 	○	○	○	2
	第5章 データの分析 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。	1. データの整理	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。 ○データを度数分布表やヒストグラムに表すことよさを理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 	○		○	1
		2. データの代表値	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの代表値を用いるのが適切なかが場面によって変わってくることを理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。 	○	○	○	2
		3. データの散らばり	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四分位数の定義を理解し、四分位数を求めることができる。 ○四分位範囲、四分位偏差の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。 ○箱ひげ図をかくことができる。 ○外れ値について理解している。 ○分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、分散、標準偏差を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四分位範囲や箱ひげ図をもとに、中央値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 ○標準偏差をもとに、平均値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。 	○	○	○	4

	4. データの相関	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○散布図を作成することができる。 ○相関係数の定義とその意味を理解し、相関係数を計算することができる。 ○相関係数と散布図の関連を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○散布図をもとに、データの相関を考察することができる。 ○相関係数の数値からデータの相関を考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相関係数と散布図の関連に関心を持ち、考察しようとする。 	○	○	○	3
	5. 仮説検定の考え方	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仮説検定の考え方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仮説検定の考え方をを用いて、ある事柄が正しいかどうかを判断することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。 	○	○	○	1
定期考査			○	○	○	1
						合計
						78

年間授業計画 新様式

高等学校 令和8年度（2学年用）教科

理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 2 学年 A組～C組
 教科担当者：
 使用教科書：（改定 新編化学基礎【東京書籍】）
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質と その変化について理解するとともに、科学的に 探究するために必要な観察、実験などに関する 基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を 養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探 究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	日常生活や社会を支える身近な物質の性質を調べる活動を通して、物質を対象とする科学である化学の特徴について理解する。 物質の分離や精製の実験などを行い、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付ける。 元素を確認する実験などを行い、単体、化合物について理解する。 また、身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現する。 定期考査	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 2章 物質の成分と構成元素	【知識・技能】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	粒子の熱運動と温度との関係、粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解する。 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 また、物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現する。 定期考査	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表	【知識・技能】 物質の構成粒子について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 物質の構成についての観察、実験を行い、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できる。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	13
2 学期	イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解する。また、分子からなる物質の性質を理解する。 金属の性質及び金属結合を理解する。 また、物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現する。 定期考査	2編 物質の構成 2章 化学結合	【知識・技能】 イオン結合・共有結合・金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 イオン結合・共有結合に関する結晶・金属の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 イオン結合・共有結合・金属結合などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する。 定期考査	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	【知識・技能】 物質について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 物質についての観察、実験を行い、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 物質に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	16
3 学期	化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解する。 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する。 定期考査	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	【知識・技能】 化学反応式について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 化学反応式についての観察、実験を行い、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応式に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	合計						

年間授業計画 新様式例

足立 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組・C 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1・3 学期	A 体づくり運動(体ほぐしの運動) 【知識および技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状況に気づき、仲間と積極的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとする、健康・安全に気を配ることができるようにする。	①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすること。②大きくリズムカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばししたりすること。③いろいろなフォームで様々な用具を用いて、タイミングよく跳んだり、転がしたりすること。④自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりすること。	【知識・技能】 ①体づくり運動のうち、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、理解したことを言ったり、書き出したりしている。②体づくり運動のうち、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを継続する能力を高める意義があることについて、理解したことを言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ①体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気づく」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。②学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。②仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。	○	○	○	7
1 学期	C 陸上競技(短距離走、長距離走) 【知識および技能】 クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができるようにする。 ペースを守り、一定の距離を走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 掲示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の学習に積極的に取り組むことができるようにする。	①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速すること。②ペースを守り、一定の距離を走ること。	【知識・技能】 ①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。②腕に余分な力を入れず、リラックスして走ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①掲示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
1・3 学期	H 体育理論 【知識および技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	①運動やスポーツを効果的に行うには、目的に合った体力や技術が必要なこと。②体力と技能を高めるのに必要なこと。③体力は様々な要素で構成されていること。④運動はけがや病気を引き起こすこと。⑤運動によるけがや病気はなぜ起こるのかを考えること。⑥自分の行う運動やスポーツに適した方法を選ぶこと。	【知識・技能】 ①運動やスポーツの技術と体力の関係について、理解したことを言ったり書きだしたりしている。②運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、理解したことを言ったり書きだしたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ①運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分類したり、まとめたりするなど判断し、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、(事例などを用いたディスカッションや課題学習など)活動などを通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

1 学 期	球技(ゴール型・バスケットボール) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。	【知識・技能】 ①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	29	
	実技テスト				○	○	○	2
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	29	
	実技テスト				○	○	○	2
							合計	78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（2学年用）教科

外国語（英語）科目 英語コミュニケーションⅠ（普通科）

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーションⅠ（普通科） 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 A 組
 教科担当者：
 使用教科書： （三省堂 Vista English Communication Ⅰ）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ（普通科） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	書					
1 学 期	A Lesson4:Pictograms 【知識及び技能】 助動詞の意味を理解し、使用できるようにする。 動名詞を理解し、文の構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や動名詞を理解し、自分自身の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵で意味を伝える「ピクトグラム」について学び、身近にあるコミュニケーション手段として考える。	・指導事項 ○助動詞can, willの意味の理解、用法 疑問文、否定文、答え方 ○動名詞の文の中での役割（主語、目的語、補語、前置詞のあと）	○	○	○	○				11
	B Lesson5: We Are Part of Nature 【知識及び技能】 不定詞の形や用法を理解し、使用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 基本パターンを用いながら、自分自身の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 職業への意識と自然環境について考え、主体的に自分の考えを発信する。また周りの生徒は発表者の意見や考えを共有する。	・指導事項 ○不定詞の用法（名詞的、形容詞的、副詞的）の理解 ○基本フレーズを用いた自分のことに関する発表	○	○	○	○				15
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	D Lesson6: Machu Picchu 【知識及び技能】 現在完了形の形、用法（完了、継続、経験）の理解や疑問文、否定文への書き換えができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形の形、用法（完了、継続、経験）を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に世界遺産であるインカ帝国が文化遺産、自然遺産の両面を備える複合遺産として登録された理由を考察し、文明について理解を深める。グループ活動において他者の考えを受容する。	・指導事項 ○現在完了形の形、用法（完了、継続、経験）の理解 疑問文、否定文、答え方	○	○	○	○				15
	定期考査						○	○	○	1
	Lesson7: Artificial Intelligence 【知識及び技能】 受け身の形、受け身の疑問形、否定形の理解。 能動態から受動態への書き換えられるようにする。また、それらを疑問文、否定文に書き換えができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を用いて、現在、過去の状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に人間とAIが共存する未来を考えさせる。	・指導事項 ○受け身の形、受け身の疑問形、否定形の理解 ○能動態から受動態への書き換え	○	○	○	○				16
定期考査							○	○	○	1
3 学 期	G Lesson8: Is There a Santa Claus? 【知識及び技能】 関係代名詞の形、先行詞毎の使い分けに注意させる。関係代名詞の後の語順の違いに注意させる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞を用いて、人や物について描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 世界に広がるクリスマス文化について学びながら、子どもの素直さとそれにこたえようとする大人の思いを感じ取り、自分の考えを他者と共有する。	・指導事項 ○関係代名詞の形、先行詞毎の使い分けの理解	○	○	○	○				17
	定期考査							○	○	○

合計
78

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭科 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 図説家庭基礎 実教出版 ）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解している。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】自分や家庭、地域の生活の充実向上をはかるために実践しようとしている。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解している。	生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決しようとしている。	自分や家庭、地域の生活の充実向上をはかるために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	1章 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 青年期の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 生活向上のため実践しようとしている。	青年期の生き方についての自立の観点から学習する。家族の形態や世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題について考える。 ・グループワーク	【知識・技能】 定期考査・ワークシート 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【学びに向かう力、人間性等】 ポートフォリオ	○	○	○	10
	7章 住生活をつくる 【知識及び技能】 住居の持つ機能と役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 生活向上のため実践しようとしている。	人との住まいのかかわりやライフステージと住まいの計画、安全や健康に配慮した住まいについて学習する。 ・グループワーク	【知識・技能】 定期考査・ワークシート 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【学びに向かう力、人間性等】 ポートフォリオ	○	○	○	8
	6章 衣生活をつくる 【知識及び技能】 衣服の機能と着装について理解し、日常の修繕をする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 生活向上のため実践しようとしている。	衣服素材の種類と特徴について学習する。洗濯の種類と方法、洗剤のはたらくについて学習する。被服製作実習を通して技術を身に付ける。 ・グループワーク、被服実習	【知識・技能】 定期考査・ワークシート 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【学びに向かう力、人間性等】 ポートフォリオ	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A組・C組

教科担当者：

使用教科書：（なし）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

- 【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	A 単元「日帰り観光の行程を独自に想像させ、周囲へプレゼン発表を行う」 【知識及び技能】 ・自らが設定した行程表について一人1台端末を使用して必要な情報を得ようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネット情報の真偽を吟味し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組もうとしている。	指導事項 ・探究したいテーマを見つける。 ・一人1台端末を利用し必要な情報を収集する。 ・収集した情報をプレゼンテーション用ソフトでまとめ発表する。 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・日帰り観光の行程を独自に想像させ、周囲へプレゼン発表を行う。 ・一人1台端末を使用して必要な情報を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思考を巡らせ、探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組むことができる。	○	○	○	13
2 学期	B 単元「希望する業種や進学先を独自に調べキャリアプランを探究し進路活動に企てる」 【知識及び技能】 ・自身の興味のある業種・進学先について一人1台端末を使用して必要な情報を得ようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身のキャリアプランを判断し、情報サイト等を活用して今後なすべきことを判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向き合い、テーマを設定し、積極的に探究活動に取り組もうとしている。 ・社会における自身の役割を果たそうと考える、将来について目標を立てている。	指導事項 ・探究したいテーマを見つける。 ・一人1台端末を利用し必要な情報を収集する。 ・収集した情報をプレゼンテーション用ソフトでまとめグループで発表する。 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・希望する業種や進学先を独自に調べキャリアプランを探究し進路活動に企てる。 ・一人1台端末を使用して必要な情報を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思考を巡らせ、探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組むことができる。 ・グループにおける役割を果たすことができる。	○	○	○	17
3 学期	C 単元「自分自身を探究し自己理解を深める」 【知識及び技能】 ・自らが設定したテーマについて一人1台端末を使用したり、書籍などを利用したりして必要な情報を得ようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組み自己理解を深めようとしている。	指導事項 ・探究したいテーマを見つける。 ・一人1台端末や書籍など利用し必要な情報を収集する。 ・収集した情報をプレゼンテーション用ソフトでまとめる。 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・自らが設定したテーマについて一人1台端末を使用したり、書籍などを利用し、必要な情報を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思考を巡らせ、探究すべきテーマを判断し、プレゼンテーション用ソフトを用いて独自の表現で効果的にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に向かい合いテーマを設定し、積極的に探究活動に取り組み自己理解を深めることができる。	○	○	○	9
							合計
							39